

2024年度「TKU進一層賞」受賞者一覧

II. 資格取得部門

| 表彰内容 | 学部・学年 | 氏名 | 分野 | 区分 | | |
|-------------|-------------|----------------|-------------|-------------|--------|--------------|
| 学長賞、父母の会会長賞 | 経済3年 | 菊池 康嵩 | 会計 | 公認会計士 | | |
| | 経営3年 | 藤村 歩乃華 | | | | |
| 学長賞、葵友会会長賞 | 卒業生 | 一條 匠 | | | 日商簿記1級 | |
| | 卒業生 | 内山 裕紀 | | | | |
| 学長賞、父母の会会長賞 | 卒業生 | 佐藤 航介 | | | | 公認会計士(短答式試験) |
| | 卒業生 | 高着 俊亘 | | | | |
| | 経営3年 | 狩野 翔一 | | | | |
| | 経営3年 | 黒川 雅姫 | | | | |
| | 経営3年 | 桑田 美空 | | | | |
| | 経営1年 | 田邊 数馬 | | | | |
| | 経営2年 | 手塚 虹汰 | | | | |
| | 経営2年 | 土井 一馬 | | | | |
| | 経営4年 | 二見 祐次郎 | | | | |
| | 経営3年 | 的野 健太 | | | | |
| | 経営4年 | 溝上 健叶 | | | | |
| | 現代法3年 | 森崎 勝斗 | | 税理士 | | |
| | 経営3年 | 吉田 雄海 | | | | |
| | 経営3年 | 伊藤 充希 | | | | |
| | 経営3年 | 狩野 翔一 | | | | |
| | 経営3年 | 菊池 康嵩 | | | | |
| | 経営4年 | 櫻井 健太 | | | | |
| | 経営4年 | 武智 悠真 | | | | |
| 経営3年 | 丹野 愛 | | | | | |
| 経営3年 | 藤村 歩乃華 | 税理士(初回の科目合格) | | | | |
| 経営4年 | 溝上 健叶 | | | | | |
| 経営3年 | 脇 達軌 | | | | | |
| 卒業生 | 加藤 明奈 | | | | | |
| 経営2年 | 井手上 健人 | | | | | |
| 経営2年 | 江連 舞 | | | | | |
| 現代法4年 | 大谷 正弘 | | | | | |
| 経営3年 | 小熊 瑞生 | | | | | |
| 経営2年 | 権田 美咲 | | | | | |
| 経営4年 | 佐々木 凜 | | | | | |
| 経営4年 | 田中 友理奈 | 会計専門職大学院 | | | | |
| 経営1年 | 田邊 数馬 | | | | | |
| 学長賞、葵友会会長賞 | 経営2年 | 中本 大晴 | 司法試験 | | | |
| | 経営2年 | 牧岡 克知 | | | | |
| 学長賞、父母の会会長賞 | 経営3年 | 的野 健太 | 司法書士 | | | |
| | 経営4年 | 小松 寛奈 | | | | |
| 学長賞、葵友会会長賞 | 卒業生 | 村田 魁斗 | TOEIC900点以上 | | | |
| | 卒業生 | 森田 大雅 | | | | |
| 学長賞、父母の会会長賞 | 卒業生 | 田村 由依 | TOEIC750点以上 | | | |
| | 経営1年 | 李 樂怡 | | | | |
| 学長賞、父母の会会長賞 | 経済2年 | 黄 冠笙 | 英語 | TOEIC900点以上 | | |
| | コミュニケーション3年 | 小山田 衣織 | | | | |
| | 経営4年 | 松島 知春 | | | | |
| | 経営4年 | 楊 凱媚 | | | | |
| | コミュニケーション1年 | 石川 瑠乃 | | | | |
| | 経営4年 | 伊藤 南輝 | | | | |
| | 現代法4年 | 梅村 寛太 | | | | |
| | 経営4年 | 浦瀬 駿介 | | | | |
| | 経営3年 | 小野寺 琢馬 | | | | |
| | 経営4年 | 影山 颯吾 | | | | |
| | コミュニケーション2年 | 加藤 理子 | | | | |
| | 経営学博士2年 | 邱 勤斌 | | | | |
| | 経営2年 | 栗田 友斗 | | | | |
| | 経営3年 | 坂本 弥宥 | | | | |
| | 経営4年 | 佐久間 音羽 | | | | |
| | 経営3年 | 櫻井 純弥 | | | | |
| | 経営3年 | 塩川 恵利奈 | | | | |
| | 経営4年 | 鈴木 俊之 | | | | |
| | コミュニケーション3年 | 高山 愛美 | | | | |
| | コミュニケーション3年 | 徳井 日香 | | | | |
| | 経営4年 | 長田 出帆 | | | | |
| | 経営1年 | 中村 隼 | | | | |
| | 現代法4年 | 中村 駿介 | | | | |
| | 経営4年 | 長谷川 奏輔 | | | | |
| | 経営4年 | 平田 佳衣 | | | | |
| | 経営1年 | 平中 瑞樹 | | | | |
| | コミュニケーション3年 | 福嶋 莉奈 | | | | |
| | 経営3年 | 星 耀子 | | | | |
| | コミュニケーション3年 | 堀越 愛 | | | | |
| | 経営4年 | 眞秀 拓実 | | | | |
| | 経営4年 | 森田 光琉 | | | | |
| | 経営4年 | 盛光 蘭 | | | | |
| | コミュニケーション2年 | 山中 拓弥 | | | | |
| | 経営2年 | コン ミマウン | | | | |
| | コミュニケーション2年 | ロイ シケイ | | | | |
| | 経営1年 | 青山 瑞樹 | | 情報 | | |
| 現代法4年 | 山口 輝久 | | | | | |
| 経営3年 | 鬼塚 航太郎 | | | | | |
| 経営1年 | 平中 瑞樹 | | | | | |
| 経営4年 | 平野 琳雅 | | | | | |
| 現代法4年 | 山口 輝久 | | | | | |
| 経営3年 | 鬼塚 航太郎 | 情報セキュリティマネジメント | | | | |

| 表彰内容 | 人数 | 分野 | 区分 | |
|-----------|-------------|----|----------------|----------------------|
| CSC運営委員長賞 | 47 | 会計 | 日本商工会議所簿記検定2級 | |
| | 47 | | 日本商工会議所簿記検定3級 | |
| | 1 | | ビジネス会計検定試験2級 | |
| | 8 | | 法学検定スタンダード | |
| | 4 | | ビジネス実務法務検定2級 | |
| 学長賞 | 19 | 法律 | 法学検定ベーシック | |
| | 2 | | ビジネス実務法務検定3級 | |
| CSC運営委員長賞 | 39 | 英語 | TOEICテスト600点以上 | |
| | 18 | | ITパスポート | |
| | 26 | | MOS(エクセル) | |
| | 上記以外の資格合格者数 | 23 | 情報 | MOS(ワード) |
| | | 1 | | MOS(パワーポイント) |
| | | 12 | | 2級ファイナンシャル・プランニング技能士 |
| | | 8 | その他 | 宅地建物取引士 |
| | | 5 | | 一種証券外務員 |
| | | 1 | | 統計検定2級 |
| | | 1 | | 秘書技能検定準1級 |
| | | 13 | | 3級ファイナンシャル・プランニング技能士 |
| | | 15 | | 秘書技能検定2級 |
| | | 1 | | 統計検定3級 |
| | | 1 | | 日商2級販売士 |

Ⅲ. 課外活動部門

1. 体育会分野

| | | | |
|-----------------|---------|-------|--|
| 最優秀団体賞(学長賞) | 体育会(団体) | | 第102回全日本ローイング選手権大会にて、2年生クルーが男子軽量級ペア4位入賞を果たした。 |
| | 端艇部 | | |
| 最優秀個人賞(父母の会会長賞) | 端艇部(個人) | | 全日本ローイング選手権大会にて、男子舵手付きフォア種目で、6位入賞を果たした。 また、全日本大学ローイング選手権大会では、対抗クルーとして5位入賞の成績を残した。 ストロークという、レース中のピッチの上げ下げや全体にわたるペース配分、リズムなどを作り出す重要なポジションを担った。 |
| | 経済4年 | 平田 遥登 | |

2. 文化会分野

なし

3. その他の学生活動分野

| | | | |
|------------------|--|-------|---|
| 優秀団体賞(学長賞) | ボランティアサークル Clover | | 地域活性化や持続可能な社会の実現を目指し、学生自身が活動を通じて成長することを目標に活動。今年度は、計36件のボランティア活動を行い、事前準備を含め100日以上にわたる活動を実施。特に力を入れたのが、地域行事の支援だけでなく、主催者としてのイベント企画・実行。 10月に開催した「ぶんじハロウィン」では、新型コロナウイルス感染拡大以降初めて、国分寺駅北側を車両通行止めにした大規模な形式で実施。実行委員会として事前準備や関係団体との調整を行い、当日は36名が仮装をしてブース運営を担当。地域の方々から好評を得るとともに、国分寺市の賑わい創出に大きく寄与。 また、7月と9月に開催したeスポーツ大会では、未就学児から中学生まで100名を超える応募があった。国分寺市青少年育成南地区委員会と共同で企画したイベントでは最大規模のものとなり、子どもたちに楽しんでもらうだけでなく、普段共同で行っている清掃活動を広く周知する場にもなった。 他にも多くのボランティアを行い、これらの活動を通じて、国分寺市唯一の大学に所属する一つしかないボランティアサークルとして地域住民や自治体とのつながりを深め、地域社会に貢献してきた。 これからも、より多くの人々と協力しながら、地域活性化と社会課題の解決に向けて取り組んでいく。 |
| | 現代法3年 | 小林 駿太 | |
| 優秀団体賞(学長賞) | TKU-アセアン協定校 多文化共修プログラム2024 学生オーガナイザー | | 本学のアセアン協定校である4カ国6大学の多様な文化背景を持つ学生たちと協働し、友情関係を育みながら世界の諸問題を共に考える多文化共修プロジェクト(Multi Cultural Co-learning 通称MCC)の企画、運営を学生主体で行った。期間は2024年7月24日から12月13日の半年間。 計6回に及ぶMCCの最終回は、本学主催のマルチカルチュラルフェスティバル(MCF)にて行われた成果発表を兼ねており、MCCダイバーシティ大学の仮想構想を発表。MCCダイバーシティ大学は、SDGsの「誰一人として取り残さない」という理念を体現し、多様な文化背景を持つすべての学生にとって居心地の良い、豊かな多様性に満ちた学びの場となっている。 MCCを成功させるにあたり、オンラインでの活動であること、また日本語が母語ではない学生との協働であることをふまえ、オーガナイザー間での綿密な打ち合わせを実施。また、多文化共修を円滑に進めるため、オンラインツールを活用した効率的な協働体制の構築に注力。 文化的背景の異なる学生同士が互いに理解を深めるための対話の場づくりや、スムーズなプロジェクト運営を実現するための役割分担にも力を入れて活動を重ねた。 |
| | 経営4年 | 東館 環 | |
| 奨励賞【個人】(父母の会会長賞) | 経営3年 | 倉持 青空 | この夏、同期と先輩の3人で、日本本土最南端である鹿児島県の「佐多岬」から日本本土最北端である北海道の「宗谷岬」まで日本縦断を行った。22日間で2585kmを走破するという壮大な挑戦は、2年前に卒業した先輩に憧れたこと、また「日本縦断達成」という響きのかっこよさに惹かれたことがきっかけで始まった。 夏休み中に挑戦したため台風が何度も襲ってきたり、連日の雨や強風に苦しめられたりする日々だった。天候不良や体調不良、さらには機材の故障といったトラブルも多々あったが、3人で励まし合いながら進むことで乗り越えられた。目標である宗谷岬に向けて進み続ける中で、現地で出会った方々からの温かい応援やサポートに支えられる場面が多く、一期一会の出会いの尊さを実感。宗谷岬に到達したときの達成感は、何にも代え難いものだった。 この挑戦を通して、何事にもチャレンジしてみることで、そしてそれに向かって努力し続けることの大切さを学んだ。また、仲間と協力することの意義や、人とのつながりの力強さも感じた。 この経験から得た教訓は、今後の人生においてもきっと活かされると思っている。どんな困難な状況でも、一歩ずつ前進することで必ずゴールに近づけることを、この日本縦断で実感。そのためこれからも挑戦し続け、成長し続けたい。 ■同じく縦断を行った学生 飯嶋 龍斗(イイジマ リュウト) 現代法4年 小熊 大樹(オグマ タイキ) 経済3年 |
| 奨励賞【個人】(父母の会会長賞) | コミュニケーション3年 | 青野 真依 | 東村山市にあるマルイ木材株式会社より依頼を受け、事務所前に飾る新年の飾り絵を制作。 12月27日(金)から数日間にわたって展示され、好評の声をいただいた。展示期間中は、近隣住民の方々立ち止まって写真を撮る様子も見られ、地域連携や本学の知名度向上などの一助となる活動となった。 ■そのほか制作に関わった学生 田中 航晴(タナカ コウセイ) コミュ3年 岸 宝星(キシ ホウセイ) 経営3年 佐藤 陽介(サトウ ヨウスケ) 現代法2年 鈴木 恋衣奈(スズキ レイナ) 経済2年 |
| 優秀個人賞(父母の会会長賞) | 経営2年 | 木暮 真理 | 電通ソデジニ主催の「DREAM JAPAN PROJECT 2024」にて、トヨタの課題を解決する企画アイデアを提出し、「トヨタ・コニック・プロ賞第3位」を受賞。トヨタのお店をその地域で町一番の存在にするために、地域課題を組み込んだビジネスアイデアを提案。 電通主催、かつ課題提供企業がトヨタ・コニック・プロと、大企業によるコンテストであったため、大きな挑戦だった。そのため、TKU進一層賞に応募し、選出されることを通じて、多くの人に挑戦することの楽しさや大切さを伝えることができたかと思っている。この功績を多くの人に知ってもらうことで、今後の自身の挑戦の糧にしたい。また、トヨタ・コニック・プロの事業や地域が抱える諸課題について多くの人に知ってもらえる機会となればとも考えている。 2023年度にも別のコンテストに参加し、TKU進一層賞優秀個人賞を受賞。その表彰式で「来年もぜひ頑張ってまた進一層賞を目指してください」という言葉をいただいたため、絶対に2連覇したいと思い、応募。 ■全国の学生から105案の応募(①企業課題解決コース:87件、②自由起業企画コース:18件) ※木暮さんが応募したのは、①企業課題解決コース。 ①企業課題解決コースは、各企業賞3位までが表彰される(別途、全応募アイデアの中から1つ選定される電通ソデジニ賞もある)。参画企業は9社。 |

IV. ゼミ学外活動部門

1. 社会貢献活動等

| | | | |
|------------|----------|--------|--|
| 優秀団体賞(学長賞) | 小木 紀親ゼミ | | <p>●NAGAOKAとのコラボ「こんな商品あったらいいなPJ」において社長へのプレゼンが行われ(11月27日/NAGAOKA社長、専務が審査/各賞・副賞を獲得)、4グループが発表し、広く本学を知らしめたため。NAGAOKAはレコード針で世界シェア99%を誇る企業である。同日は、外部公開、オープンゼミにもした。さらに、この取り組みは対外的な場面でも紹介し、学生募集などにも貢献した。</p> <p>●TFT×東経大生協×小木ゼミのコラボにより、健康ランチの企画・提案・販売・プロモーションを行い、生協売上の向上を図るとともに、1食販売あたり20円分を、アフリカの子どもたちの給食へ寄付する国際貢献活動を行った。また、メニュー作り及び試食会を経て、丁寧に販売に到ったことを付言しておく。寄付額としては、7月は「J」1,588食販売し31,760円を寄付、12月は「SPK井」「キーマカレー」1,249食販売し24,980円(計56,740円)を、TFTを通じてアフリカの子どもたちの給食に寄付した。もって、大学・ゼミでの活動を広く一般に知らしめた。</p> <p>●西武信金「スチューデントアワード・アイデアコンテスト」のファイナリスト(1グループ)として12月11日(水)に西武信金本社(中野)にてプレゼン発表を行った。</p> <p>●JR東日本nonowa×アンビー×小木ゼミのコラボにより、西国分寺お土産プロジェクトを昨年に継続して展開し、12月に西国分寺のお土産商品を開発・販売した(12月22・27・28日)。小木ゼミは商品企画と販売を担当し、アンビーがこれを制作し、販売場所やプロモーションをJR東日本が担当する取り組みである。昨年を超えた売り上げとなった。もって、社会貢献にも寄与し、本学を広く知らしめた。</p> <p>●多摩大学アクティブラーニング発表祭へ24年度招待ゼミとして小木ゼミの行っている地域活性化・社会貢献活動についての発表を行い、本学を知らしめた(12月14日)。</p> <p>●オープンキャンパス(3月・5月)、ゼミ研究発表(12月7日)などでゼミなどの活動を報告した。</p> <p>●東京都生活文化スポーツ局消費生活部より依頼を受け、「これからの消費社会、どうする?」をテーマにした提言をゼミ2年生2チームが行うことが決定(24年11月に依頼)。</p> |
| | 経営3年 | 大丸 明日香 | |
| 優秀団体賞(学長賞) | 藤井渡邊特別ゼミ | | <p>武蔵野エリアを中心に、イベント開催やステークホルダー様の活動への参加協力を行い、地域活性化に取り組んだ。</p> <p>《活動内容》</p> <p>1.ハロウィンイベントへの参加 株式会社JR中央線コミュニティデザイン様主催の「ハロウィン縁日&おさがりコーナー」にスタッフとして参加した。初対面の方と協力する場面が多かったが、学生から主体的にコミュニケーションをとり、スムーズな運営を実現。当日は400名を超える方々にご来場いただき、参加者のリユース意識向上と地域コミュニティの交流を達成した。</p> <p>2.フロッタージュイイベントの開催 芸術の秋をテーマとし、三鷹市のレンタルスペース「ニワビラキノイエ」にてフロッタージュイイベントを開催した。開催地近くの井の頭恩賜公園での落ち葉広いやフロッタージュ製作を通じ、自然と触れ合う機会を提供。参加者からは「地域と学生さんに関わられた“場”ができていた」や「大人も一緒に楽しめた」などご好評をいただき、多世代交流に貢献できた。</p> <p>3.「iisakii」の取材・編集 武蔵野の地域情報誌「iisakii」の取材・編集に携わり、武蔵野市立第六中学校の職業体験や地元商店街の特集記事を制作した。取材を通じて地域の多様な声を集め、魅力的な記事を作成し、地域の情報発信と活性化に貢献した。</p> <p>また上記活動以外に、昨年に引き続き「Let's浴衣ですたでい」「健康フェスタ」「東経大ウインターフェスタ」を開催し、愛校心の向上や学生の学びの機会の創出、SDGsの啓蒙に取り組んだ。</p> |
| | 経営4年 | 眞秀 拓実 | |

2. 学外コンクール等入賞

| | | | |
|----------------|--------------|----------------|--|
| 最優秀団体賞(学長賞) | 石川 雅也ゼミ | | <p>2024年1月20日～2025年1月17日までの期間において、ゼミでの研究活動に積極的に取り組んだ結果、以下の成果を上げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第24回日経STOCKリーグにて、4グループが入選。 ・第20回日銀グランプリにて、1グループが最優秀賞、1グループが敢闘賞を受賞。 <p>以上は、金融分野における大学生対象のレポートコンテストの中でも、権威ある組織の主催による多くの大学が参加する大会における成果であり、対外的に非常に大きな成果となった。</p> <p>日銀グランプリに関して、石川ゼミの過去の受賞実績としては、2014年度の優秀賞1本と敢闘賞・特別賞同時受賞1本、2016年度の奨励賞1本、2017年度の敢闘賞1本と奨励賞2本、2018年度最優秀賞1本と奨励賞1本、2019年度最優秀賞1本と奨励賞1本、2020年度敢闘賞1本、2021年度敢闘賞1本、2022年度最優秀賞1本と奨励賞1本、2023年度奨励賞2本に続く受賞となる。</p> |
| | 経済3年 | 池野 壮哉 | |
| 優秀団体賞(学長賞) | 北村 真琴ゼミ | | <p>・地域連携スチューデントアワード 西武信用金庫主催「2024年度地域連携スチューデントアワード」に2チームが参加。どちらのチームも学内選考を通過し、本選大会に参加。そのうちチーム「コブシ」が優秀賞(準グランプリ)を受賞。課題企業の1つであるYolmi株式会社の試作品「Yolmi」(暗い夜道の安全を見守る防犯アクセサリ)に「電車内における痴漢被害を未然に防ぐ」機能を新たに加えることで、被害者が泣き寝入りすることの多い社会課題の解決に寄与するというアイデア。鉄道会社や電車内モニター広告を管理するシステム会社へのヒアリングや、潜在顧客のニーズおよび支払意思額を確認する市場調査などにより裏付けを取った事業計画が、審査員から非常に高い評価を受けた。</p> <p>■本選は6大学14チームが出場。5チームが入賞(最優秀賞1チーム、優秀賞2チーム、審査員特別賞2チーム)</p> <p>■チームメンバー 若月 柚菜(わかつき・ゆな) 経営3年 山崎梨穂(やまざき・りほ) 経営3年 渡邊裕太(わたなべ・ゆうた) 経営3年</p> <p>・販促コンペ 宣伝会議が主催する「第16回 販促会議 企画コンペティション」に7チームが参加。うち2チームが1次選考通過以上の成果をあげた。本コンテストは電通、博報堂など広告やプロモーションなどを業務とする社会人(プロ)が多数応募するコンテストであり、今年度の応募数は4889本だった。その中で、丸石製菓の課題を選んだ1チームが1次選考通過。トヨタファイナンスの課題を選んだもう1チームは2次選考も通過し、最終的に「学生賞」3本に次ぐ「学生賞ファイナリスト」6本の1つに選出。なお、トヨタファイナンス班は、本コンテスト審査員とは別に課題企業が選考する「協賛企業賞」の候補にも残り、トヨタファイナンスからプレゼンをしてほしい旨の連絡があり、7月にZoomでプレゼンとQ&Aを行った。</p> <p>■応募数:4889本。1次選考通過は341本(通過率:約6.97%)、2次選考通過は119本(同:約2.43%)。</p> <p>■チームメンバー ・トヨタファイナンス班 「支払い初心者マーク」 高橋裕人(たかはし・ひろと) 経営3年 原楓(はら・かえで) 経営2年 荒井寛太(あらい・かんた) 経営4年 ・丸石製菓班 「わるこーる」 五位野暁陽(ごいの・あさひ) 経営3年 江森賢聖(えもり・けんせい) 経営2年 山田颯桜(やまだ・そら) 経営2年</p> |
| | 経営3年 | 若月 柚菜 | |
| 優秀個人賞(父母の会会長賞) | 小木 紀親ゼミ | | <p>「令和6年度 消費者教育学生セミナー」(主催:国民生活センター、消費者教育学会/後援:消費者庁、文部科学省)内、「消費者教育に関する企画・提案コンテスト」において「最優秀賞」(グランプリ)を獲得。</p> <p>上級学年がいる中でグループのリーダー、副リーダーとして班をまとめ上げ、グループ発表の資料作成及びプレゼンターとして活躍。毎年開催される本セミナー内の課題発表で最優秀賞をとることは非常に難しく、その意味では東京経済大学の名前を知らしめたことに大きな意義がある。</p> <p>短時間で作り上げたPPT資料やプレゼンは大変素晴らしいものがあり、最優秀賞を獲得することになった。即席チームとはいえ、渡邊、後藤がリーダー、副リーダーとして活躍したことは意義があると考え。</p> <p>■参加者(団体)数:38名・6グループ</p> |
| | 経営3年 経営2年 | 渡邊 景太 後藤 未来 | |
| 優秀個人賞(父母の会会長賞) | 小木 紀親ゼミ | | <p>①「令和6年度 消費者教育学生セミナー」(主催:国民生活センター、消費者教育学会)内、「消費者教育に関する企画・提案」において「優秀賞」を獲得。</p> <p>上級学年や院生がいる中でグループのリーダー、副リーダーとして班をまとめ上げ、グループ発表の資料作成及びプレゼンターとして活躍。毎年開催される本セミナー内の課題発表で優秀賞をとることは難しく、その意味では東京経済大学の名前を知らしめたことに大きな意義がある(8月30日開催)。</p> <p>②NAGAOKA(レコード針で世界シェア99%の企業)とのコラボ「こんな商品あったらいいなPJ」の外部公開での社長へのプレゼン大会が開催され(11月29日/東経大/NAGAOKA社長、専務等が審査)、「ブランディング賞」(グランプリ)を獲得し、広く本学を知らしめた。</p> <p>同日を、外部公開、オープンゼミとし、また対外的な場面でも紹介された(オープンキャンパス、父母の会、多摩大学AL祭、高校模擬授業、高校でのゼミ紹介等)。</p> <p>■参加者(団体)数 ①38名・6グループ ②18名・4グループ</p> |
| | 経営3年 経営3年 | 星 耀子 出口 陽向 | |

| | | | | |
|----------------|----------|--|-------|--|
| 優秀個人賞(父母の会会長賞) | 青木 亮ゼミ | | 高橋 睦 | 5月15日～9月13日に開催された「大学生観光まちづくりコンテスト2024」の福島復興ステージに経営学部4年雨宮和音、経営学部4年相原優と共に、計3人で参加。 観光まちづくりプラン作成のため、夏休みを利用し複数回のフィールドワークを通して地域の方や町役場の方などにインタビューを行った。さらに500時間以上グループワークを重ね、プランを提出。 予選審査通過後、上位10チームで行われる本選発表会に出場し、準グランプリを受賞、全国112チーム500人以上の参加者の中から全体2位に入賞。 また、コンテスト後に公益社団法人福島相双復興機構様及び富岡町役場様から招集され、富岡町の町長や富岡観光協会理事長様をはじめとする方々に向けてプレゼンをする機会をいただいた。まちづくりコンテスト本戦及び富岡町役場様でのプレゼンの際に行われたBS日テレに取り上げられた。 作成した観光まちづくりプランの実現に向けて富岡町と協議している。 今回のコンテストは観光・まちづくり分野のコンテストの中でも権威ある主催による大会であったため、今回の受賞によって他大学・地方自治体関係各所に本学を知らしめ、社会・地域貢献活動に尽力するとともに結果が実を結んだ。 ■グランプリ: 明治大学、準グランプリ: 千葉大学・東京大学、東京経済大学 |
| | 経済4年 | | | |
| 優秀個人賞(父母の会会長賞) | 黒田 敏史ゼミ | | 大野 陽輝 | 行動経済学会ポスター報告において、ゼミで取り組んでいる研究テーマを発表。行動経済学会ポスター報告奨励賞(学部生部門)を受賞。 働き方改革の1つである時間外労働の上限規制が幸福度へ与えた影響について研究。時間外労働の上限規制に猶予期間を設けられた職業と設けられなかった職業を比較。 その結果、猶予期間を設けられた建設事業者に比べて、設けられなかった建設事業者に類似した職業に就いていた個人の幸福度が上がったことを明らかにした。 正確に因果を識別するため、統計的因果推論の分析手法を用いたり、個人差(性格や遺伝的要素)による影響を制御したりと試行錯誤を繰り返した。 研究内容のポスター発表は学会において妥当性の高い研究であると認められた。学部生によるポスター報告30本のうち、奨励賞5本に選ばれることは容易いことではない。 この受賞は私の受けた東京経済大学の教育水準の高さを示す客観的証拠になる。 東経大の学生として約4年間学んできたことが奨励賞受賞という結果につながり、さらに自信をつけることができた。研究を通して、大きな成長を実感。 ■ポスター報告奨励賞(学部生部門): 大阪経済大学、東京経済大学、公立はこだて未来大学、同志社大学 |
| | 経済4年 | | | |
| 優秀個人賞(父母の会会長賞) | 井上 普就ゼミ | | 荒井 陽太 | 2年生4人でチームを組み、株式会社プロネクサスが主催する第16回プロネクサス懸賞論文募集に応募。 佳作を受賞。 指定された『上場会社のディスクロージャー・IRをより効果的、効率的なものにするための研究および提案』というテーマのもと、「役員報酬における業績連動報酬の市場間の開示実態の分析」という論文を作成。 研究は7月から開始。テーマと分析に必要な方法を決定した後、データ収集を行った。範囲は、東証プライム上場企業、東証第1部上場企業、東証グロース上場企業、東証マザーズ上場企業(約2200社)の過去10年分。必要な定性情報(6個)をPDFファイルから手作業で、定量データをダウンロードにより収集。分析をおして業績連動報酬の開示実態は不十分であることを明らかにし、分析結果を元に開示内容の改善案を提示。 審査員の方からは、業績連動報酬の開示は重要なテーマであり、適切な仮説を設定した点、2014年から2023年までの10年間のデータを収集し分析した点が労作と評価された。 膨大な量のデータ収集が必要であったため、途中で挫折しそうになることもあったが、グループ内で切磋琢磨し、根気強く作業したことで論文を完成させた。 これまでの人生で1番の努力をした今回の論文作成をとおして自分の可能性を実感できたため、今後の活動に活かしていきたい。 ■応募本数は4本(部門Ⅰ(個人または2名)1本、部門Ⅱ(大学生グループ)3本)。 優秀賞: 一橋大学、佳作: 千葉商科大学、東京経済大学 ■そのほかチームの学生 大久保 彩夏(オオクボ サヤカ) 経営2年 辻内 祥妃(ツジウチ サキ) 経営2年 牧岡 克知(マキオカ カツシ) 経営2年 |
| | 経営2年 | | | |
| 優秀個人賞(父母の会会長賞) | 上杉 めぐみゼミ | | 渡辺 一矢 | 第40回 2024年ACAP(公益社団法人消費者関連専門家会議)が主催する消費者問題に関する「わたしの提言」懸賞論文へ応募し、「入選」を受賞。(賞は最優秀賞、優秀賞、入選となっている。) 題名は「成年年齢引き下げに伴う消費者教育の在り方について」。 消費者問題に関する「わたしの提言」として、毎年消費者関連のテーマが6つ設定。 そのうち「わたしが考える消費者教育」について、成年年齢の引き下げに伴い、高校を卒業するまでに成年として社会で生活していくうえで必要最低限の知識やスキルを身につけることのできる教育方法について、高校の総合授業などで実践できる内容について具体的な方法を提言した。 前期からこれらのテーマに関する研究を行い、ディスカッションを通じてより深い理解や新たな意見の検討などを行い、それを基に自分の見解をまとめたものを懸賞論文に投稿。 審査員長から「実際に考えて解決策を共有する教育に効果が期待できる」、「わかりやすい手法で実現性も高い」などというコメントをいただいた。 ■応募数72作品。 最優秀賞: 獨協大学、 優秀賞: 東京都立調布南高等学校 教員、 入選: 慶應義塾大学、アキレス株式会社、東京経済大学 |
| | 現代法3年 | | | |